



# さいせい



発行  
**済生会西条病院**  
 2020年夏号 第81号

西条市朔日市269-1  
 TEL(0897)55-5100



白蛇伝説の地、止呂峡の大白蛇の流れ（西条市藤之石） 撮影：医療秘書課 神原勝己

## ごあいさつ

事務長 矢野 泰利

## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について

外科(感染コントロール医) 石井 博

## 消毒薬のおはなし

薬局 大森 孝子

## 新型コロナウイルス感染対策について

感染管理認定看護師 横畑加代子

## 部署紹介

回復期リハビリテーション病棟 大類 加澄

## 宇和海合同診療

検診課 工藤 晃久

## 食べ物の話② きのご類

栄養科長 越智 泉

## 総合案内の新規メンバーに看護部が加わりました

看護部 三島栄里子

## いしづち農園へ来てみんかいよ〜♪

介護福祉士 伊藤 麻衣

## ガラス越しでく々の面会

西条特別養護老人ホーム 大藪 智子

## ごあいさつ

事務長 矢野 泰利



事務長

矢野 泰利

令和2年が始まってすぐさま中国武漢に端を発した新型コロナウイルスの感染が、瞬間に全世界を駆け巡ることになりました。日本国内においてもクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」における感染の発症を皮切りに、首都圏から北海道そして全国へ感染が拡大していきました。

医療や介護現場にも感染拡大の波が訪れ、当院と同じ法人の済生会有田病院のクラスターの発生等、逼迫した医療や介護の現場の状況を毎日テレビ報道や新聞紙面上で、目にしない日がなかったように思います。

また、医療、介護の現場だけでなく経済界においても、新型コロナウイルス不況として操業の中止や人の移動の制限、各種イベントの中止等による突然のリストラなど、様々な業種に多大な影響を与えることになりました。

済生会の成り立ちは、明治天皇の発した「済生勅語」が原点であり、日露戦争や二度の世界大戦後処理による不況、最近ではリーマンショックや大規模な災害による経済的不況等、それぞれの時代の背景や社会の情勢に応じて生活困窮者へ継続した無料低額診療事業を行ってきました。

現在新型コロナウイルス感染がもたらした不況に対して、当院は今一度原点に立ち返り明治天皇の発した「済生勅語」の意味を職員が理解し、社会福祉法第2条第3項第9号の規定に基づいた支援を行うことが、済生会に勤める職員の使命であると思われまます。

新型コロナウイルス感染は、今後も収まる気配がありません。当院では、新型コロナウイルスの影響により、突然のリストラや収入の途絶えた方々への支援を行ってまいりますので、医療費の支払いに困って、医療機関への受診を控えている方がおられましたら、遠慮なく当院の社会福祉課の担当者へご相談ください。



## 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) について

外科(感染コントロール医) 石井 博

令和1年11月末から中国武漢を発生源として日本および全世界にコロナウイルス感染症が拡大していることは皆さんご存じの通りです。咳や鼻水、微熱を発生させる風邪症候群の原因はコロナウイルスやアデノウイルスと言われており、日本では気温が低く乾燥した時期の冬場に流行します。今回の新型の場合に問題なのは、感染していても無症状の方がおられるため拡大を防ぐことができませんし、さらに気温や湿度の上昇にも強いことが特徴です。現在治療薬を探っている最中ですが、残念ながら決定的なものはありませんし、今後インフルエンザのように重症化を防ぐ治療薬ができる可能性も非常に少ないと考えられています。さらにコロナウイルスはRNAウイルスであり、インフルエンザウイルスと同様にいつも遺伝子(RNA)が変革しており、インフルエンザワクチンと同様に重症化を防ぐ程度の限定的な効果になりそうです。新型コロナウイルスにかかった方において中和抗体は4割程度しか作成されておらず、この抗体も2か月程度で感度以下になると報告されており、再感染なども防ぐことができないかもしれません。これらからすると今後このウイルスと私たちは長い期間付き合っていくしかないように考えられます。

最も重要なことは感染しないようにすることです。感染が成立するためにはある程度のウイルス量が必要となります。飛沫感染と接触感染のうち接触感染が最もうつりやすく、麻疹や結核のような空気感染は少ないと考えられます。マスク装着で他人に飛沫感染でうつさないことも重要ですが、自分にうつされないためには手洗いが最も重要となります。70%以上のエタノールで手洗いするのも有効ですが、皆さんが手洗いされている姿を拝見すると残念ながら十分な手洗いではありません。アルコールはたんぱく質(汚れ)がついていると効果が半減しますし、水分が残っているのも効果がありません。コロナウイルスの場合には通常の石鹸を使用し十分に泡だてて30秒程度の水洗で洗うことが最も効果的で、紙タオルなどで十分に水分を除去し、その後のアルコールを使用すると完璧な手洗いとなります。手袋は穴が開いていることが多く決して安心ではありません。また手荒れが発生するとウイルスなどが生着しやすいので、手荒れが発生しないようハンドクリーム保護剤などご利用ください。詳細な手洗いの方法に関しては済生会西条病院のホームページに掲載しています(<http://www.saiseikaisaijo.jp/news/hand-washing.html>)。種々の器具に関しては0.05%の次亜塩素酸ナトリウムで十分効果があります。ただし、この次亜塩素酸ナトリウムは人体には有害ですので決して噴霧や手洗いなどに使用しないでください。十分な水洗による手洗いを行っていただければ概ね感染を防ぐことができます。正しく手洗いを行ってコロナウイルスにかからないようにしましょう!

当院では感染対策に熟知した感染コントロール医が2名(岡田および石井)と感染管理認定看護師(横畑)が常駐しております。引き続き厳重な感染対策を行って参りますので、種々の対策にご協力いただくとともに安心して治療を受けられるようお願い申し上げます。また院内の各所に感染対策の方法に関して掲示を行っておりますのでご覧いただければと存じます。



## 消毒薬のおはなし

薬局 大森 孝子

家庭で使いやすい消毒薬についてご紹介します。

### 【消毒用アルコール】

「エタノール」や「イソプロピルアルコール」があります。どちらも手指や身のまわりのモノの消毒に用いられます。消毒用アルコールには適正な濃度があり、エタノールの場合70~83%が消毒薬として有効な濃度です。エタノール濃度が表記されている製品を選びましょう。濡れた場所を消毒するのにアルコールを使用すると、水分でその部分のアルコールの濃度は薄まってしまい、十分な消毒効果は発揮できません。濡れた場所は布などで水分をしっかりと拭き取ってからアルコールを使用しましょう。流水せっけん手洗いは十分な除菌になりますので、アルコールがなければ正しい手洗いをしましょう。

### 【塩素系消毒薬】

「次亜塩素酸ナトリウム(または次亜塩素酸塩)」があります。身の回りのモノの消毒に使用されますが、手指や人体には使用できません。台所用の塩素系漂白剤や、お風呂の塩素系カビ取り剤の成分です。これらの説明書きには必ず「換気をしましょう」と書いてあると思います。それだけ吸入することが有害だということになります。ニュースでもありましたが、次亜塩素酸の噴霧や吸入は大変危険ですので絶対にやめましょう。次亜塩素酸ナトリウム濃度が0.05%になるように水で薄めて、布などに含ませて消毒したい場所を拭きます。できればその後水拭きしましょう。金属は腐食のおそれがあるので注意して下さい。最近話題の「次亜塩素酸水」は次亜塩素酸ナトリウムを水で溶かしたものではありません。使い方もまったく異なりますので注意して下さい。

消毒薬が品薄になったり不便になってきていますが、消毒薬をうまく使い分けてコロナウイルスの危機を乗り切ってください。

## 新型コロナウイルス感染対策について

感染管理認定看護師 横畑 加代子

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が発生している状況で、今までと同じ生活様式を送っていると感染はあっという間に広がってしまいます。**3密:「密閉」、「密集」、「密接」を避けた生活様式**に変化させることが重要です。COVID-19は、インフルエンザと同様に飛沫、接触感染(一部はエアロゾル)で感染します。しかし、インフルエンザを皆さんCOVID-19のように恐れるでしょうか?インフルエンザは病気について理解し、治療薬があることで私たちは治る病気と理解し、マスク着用や手洗いなどの感染対策をおろそかにしていたことはないでしょうか?しかし、COVID-19は、未知の病気、治療薬が確立されていないということで人の不安を駆り立てます。今こそ、私たちがきちんと感染対策を実践することが重要になってきます。

### 日頃から気をつけたいこと! 基本は3密:「密閉」、「密集」、「密接」を避けた生活様式です!!

- ① やむを得ず人が集まる場所に行く場合は、マスクを着用しましょう。
- ② **眼、鼻、口に触れる前、後は必ず手を清潔にしましょう。**「流水石鹸手洗い」、「アルコール手指消毒」どちらもOKです。  
人は、1時間に23回顔、特に眼や鼻など粘膜に触れると言われています。環境に触れた手で鼻や目をこすっていませんか?マスクに触れた手であちこち触れていませんか?ウイルスは、眼や口や鼻から入ります。
- ③ 人と話す時は、マスクをして1~2mの距離を保ちましょう。
- ④ 家族内に体調の悪い方がいる場合、食器の共有、タオル類の共有も避けましょう。また、体調が悪い方は、家庭内で最後に入浴しましょう。その場合、食器洗浄・洗濯は通常の洗剤洗浄で十分です。ウイルスなどは、大量の水で洗い流されます。洗濯物を日干しするとより効果的です。
- ⑤ やむを得ず発生地域に滞在した場合、帰宅後2週間は自身の体調の変化に注意し、発熱、味覚・嗅覚障害が出現した場合は、直接病院に来院せずに保健所に相談しましょう。





## 部署紹介

回復期リハビリテーション病棟 大類 加澄

回復期リハビリテーション病棟は骨折や脳血管疾患後の患者さんのリハビリを行う病棟です。歩行、食事・排泄など生活動作の安定や再獲得をすることで生活の質の改善や自宅への早期退院を目指しています。

整形外科の相澤先生をはじめ、各主治医の先生や専属7名のリハビリスタッフ、看護スタッフさらにソーシャルワーカーらが協力しています。患者・家族の目線にあった援助を目標に優しさの伝わる支援を目指します。今後よろしくご依頼申し上げます。



## 宇和海合同診療

検診課 工藤 晃久

済生丸による宇和海合同診療に西条病院の派遣スタッフとして参加しました。この宇和海合同診療は、愛媛県済生会の主催で宇和海の島嶼部（日振島、竹ヶ島、戸島、嘉島、大島）の島民の検診や診療を行う毎年恒例の合同診療で、愛媛県内の済生会病院（松山病院、今治病院、西条病院）3施設が行っています。

今年はコロナの影響で毎年5月に行われる1次の合同診療が外出自粛のため延期となってしまう血液検査や胃部検査、婦人科検診、検便等の検診を行うことができませんでした。6月に入り外出自粛が緩和されたことで宇和島市と八幡浜市から「済生丸に来てほしい」と連絡が入り7月7日から7月10日の4日間、血液検査と検便と医師による問診と内容は通年と比べ縮小しましたが宇和海に赴き検診業務を実施することになりました。

出発直前の豪雨の影響で実施可能かと宇和島市も決断を迷っていましたが、島民の方々から「来てほしい」との声があるとのことで出発しました。1日目の日振島の検診を実施している途中に島に避難勧告が発令され、そのあと最終日までの日程が中止となってしまいました。

今回は日振島と八幡浜の大島の実施となりましたが、日振島では、雨の中いつもと同じ数の島民の方々足を運んでくださり、合同診療を心待ちにしていると知り、心打たれました。今回は島の方々には十分な検診を行えませんが今後も続けていかなければならないと思いました。



## きのこ類

栄養科長 越智 泉

きのこ類は、腸内の善玉菌を増やす水溶性食物繊維が豊富でカロリーが少なく、野菜に少ないビタミンDを多く含む健康食品です。

日本で採れるきのこは1500種類以上あり、抗がん作用やダイエット効果、免疫力アップで注目の食品です。インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症予防に重要となる免疫力を日頃から高めておくためにも毎日きのこ類を食べることをお勧めします。

### 【きのこの主な働きと効果】

- しいたけ…動脈硬化予防・老化防止・抗がん作用・骨粗鬆症予防・便秘改善・貧血予防
- えのき…動脈硬化予防・ダイエット効果・糖尿病予防・肌のトラブル解消・抗がん作用・便秘改善
- えりんぎ…脂肪肝予防・便秘改善・高血圧症予防・ダイエット効果
- しめじ…美肌効果・抗がん作用・ダイエット効果
- まいたけ…動脈硬化予防・高血圧症予防・糖尿病予防・抗がん作用・美肌効果・ダイエット効果
- なめこ…動脈硬化予防・疲労回復・夏バテ解消・抗がん作用・滋養強壮作用
- マッシュルーム…ダイエット効果・高血圧症予防・口臭予防効果・体臭予防効果

## 総合案内の新規メンバーに 看護師が加わりました。

看護部 三島 栄里子

今年度から、総合案内に看護師が配置されることになりました。

初診時に何科にかかったらよいのかわからない、問診票をどのように記入してよいのかわからない、病状などについての疑問などをお聞きし、スムーズに外来受診ができるよう、お手伝いさせていただきます。

また、患者相談の窓口として、医療ソーシャルワーカーや他部門への連携も速やかに行えるよう努めております。

介護など、お手伝いが必要な方や何かお困りのことがございましたら、いつでもお声かけください。





## いしづち農園へ来てみんかいよ〜♪

介護福祉士 伊藤麻衣

大阪生まれの大阪育ち、土いじりとは無縁の私と実家が農家の主任が主に世話をしている小さな畑は今年で3年目に突入しました。今、トマトときゅうりなどの夏野菜やサツマイモを栽培中！野菜作りベテランの利用者さんと一緒に土作りから始め、野菜の成長に合わせてネット張り、収穫までを楽しく頑張っています。

利用者さんにとっては、畑までのデコボコ道と坂道は良い歩行訓練にもなります。また、鍬を使用し全身を使った動きはとても良いリハビリになります。

「きゅうりは大きくなった？」「野菜は肥りよる？」や「肥料が足らん！水をもっとやらないかん！！」など来苑する度に気にかけてもらい、愛情いっぱい育てた野菜達。

ご利用者さんには大いに気分転換になり、作業の後には水分補給もゴクゴク一気に進めます。私達は、ご利用者さんの意外な一面を発見でき、収穫野菜で作る自宅でのメニューの報告と共に素敵な笑顔を見せていただいています。

PT、OTの先生に実施していただくリハビリの時とは、また違ったご利用者さんのイキイキとした姿を見て、私たち職員も元気をもらっています。

今回は冬野菜を計画中で、皆で力を合わせて頑張ります。乞うご期待。畑に行き野菜ができてると嬉しく、また、採れたて野菜を食べることで食への意識を高め、生活意欲の向上に繋げていきたいと思ひます。



## ガラス越しで久々の面会

西条特別養護老人ホーム 大 藪 智 子

新型コロナウイルス感染予防対策のため、当施設でも3月2日から面会を制限させていただいております。ご家族やご利用者にご理解・ご協力いただいておりますが、長期間経過しているためお顔だけでも見ていただき、ご家族に安心していただけるようガラス越しやパソコン画面を通しての面会を開始しています。

この日は約2ヶ月ぶりの対面。ガラス越しなので始めは状況の理解が難しかった入居者さんも、顔を見ながらのご家族からの声掛けにより笑顔になり、ご家族のお名前を呼び、「よう来てくれたね。ありがとう。体に気をつけて風邪をひかないよう元気でいてください」と喜ばれ、帰り際には「気をつけて帰ってね」と声を掛けられました。

「久しぶりに会えて良かった。元気そうで安心しました」とご家族も仰り、お互いに気遣われていました。

立ち会わせていただいた私たち職員にとっても心温まるひと時でした。

※感染対策縮小期に入った現在は手洗いやマスク着用、検温など感染予防対策をとった上、1階ロビーで面会していただいています。

